

平成 22 年度

比企の川づくり協議会 総会資料

(2009. 4/1~2010. 3/31)

(ページ)

I. 平成 21 年度 事業報告	1
II. 平成 21 年度 決算報告	10
III. 平成 22 年度 事業計画	12
IV. 平成 22 年度 予算	14



平成 22 年 4 月 17 日

滑川町エコミュージアムセンター セミナールームにて

I. 平成 21 (2009) 年度 事業報告 (案)

1. 水辺再生 100 プラン事業

埼玉県が開始した水辺再生 100 プラン事業が、平成 21 年度は比企流域の 2 地区（槻川の小川町、嵐山町（東秩父村の事業は継続事業））で新規採択された。

これらの事業への意見反映に向け、埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉河連）の行動と連動して積極的に行動した。

近隣住民に呼びかけた公開調査、シンポジウムや川遊びなどを行うとともに、事業主体である東松山県土整備事務所に対し、河畔林の保全や魚類生息場づくりなどについて具体的な提案を行った。

また、本事業を槻川再生のスタートとして盛り上げていくためのパンフレットを作成し、小川町の方々の協力を得て、近隣住民に配布することができた。

現場協議は行う予定であったが、いまだ実施されていない。

なお、当協議会は地元住民ではないため、あくまでもサポート役として地元で認知されるよう留意しながら行動していきたい。 新聞記事、パンフレット作成

(1) 公開調査

第 1 回：6 月 13 日（土）、栃本堰下流、河道内の踏査

第 2 回：7 月 4 日（土）、栃本堰上流、カヌー・潜水調査

内 容：水際線の状態、生息生物、河床材料、瀬淵の位置、河畔林の植生 など

(2) 槻川再生シンポジウム

日 時：8 月 22 日（土）

場 所：リリック小川

内 容：かつてと今の槻川（槻川を美しくする会 小沢氏、水辺観察会 馬場氏）、槻川再生のポイント（埼玉県生態系保護協会 安東氏）、事業計画案（東松山県土整備事務所、柳課長）、意見交換

(3) 川遊びイベント開催 槻川で川あそび

日 時：9 月 6 日（日）

場 所：日の出橋周辺

内 容：カヌー体験、魚類採取（定置網、もんどり網）、ミニ水族館

講 師：埼玉県生態系保護協会 安東氏

- ・ 近所の子どもたちが参加してくれ、終了後も川に飛び込んで喜んで遊んでいた。
- ・ 堰下流では多種の小魚が採取されたが、堰上流の魚道出口では大きなウグイしか採取されず、魚道は小魚が遡上できないことが示唆された。

(4) ワーキング会議へのオブザーバー参加

事業計画を検討する東松山県土整備事務所主催の 3 回のワーキング会議にオブザーバー（1 名）及び傍聴者として出席した。

2. 埼玉県における今後の治水対策のあり方について〔提言〕学習会

埼玉県が公表した「埼玉県における今後の治水対策のあり方について 提言」は全県の河川整備計画の見直しを示していることから、提言作成を主導した埼玉県河川砂防課 朝堀課長をお招きし、提言の概要と市野川への適用について学習会を開催した。

流域市町にも参加を呼びかけ、午前中は中流部（丘陵地・台地、滑川町）の掘り込み河川と下流部（低地、東松山市・吉見町）の築堤河川を見学し、午後に東松山県土整備事務所にて学習会を開催した。

提言の基本的考え方や地形からみた市野川流域における洪水リスクの高いエリアなどについて理解する貴重な機会となった。

（1）市民学習会の実施

課長をお招きした学習会に先立ち、提言の読み合わせと専門用語などについて、主催者での事前学習会を行った。

日 時：5月23日（土）

場 所：滑川町市民文化センター

メンバー：市民（主催者）

【主な専門用語】

- ・ 固有のリスク：地域に降った雨が地形条件で集まった自然条件に起因する氾濫（内水）
- ・ 転嫁されたリスク：上流の河川改修により人為的に集められた洪水が下流で氾濫する「外水氾濫」
- ・ 超過外力：計画を超える降雨
- ・ 今後の治水対策の考え方：リスクの転嫁はできるだけ避けつつ、固有のリスクの軽減を図ることを今後の治水対策の基本として、県内の治水安全度を向上させる。

（2）学習会の開催

日 時：6月6日（土）

場 所：市野川、東松山県土整備事務所

メンバー：埼玉県河川砂防課・東松山県土整備事務所（7名）、滑川町・東松山市・吉見町（4名）、市民団体（7名） 総勢 18名



3. 市野川[羽尾地区]

羽尾地区の市野川で実施中の水辺空間整備事業は、B区間で採用した全国的にも先進的な新2WAY方式による整備が21年度で終了した。

平成21年度は、採用した新2WAY方式の妥当性を評価するためのモニタリング調査を行う体制を構築し、初期地形データを取得することができた。

(1) 生態系ネットワーク 関東拠点百選（サポート）

「市野川水系の会」が生態系ネットワーク 関東地方拠点百選に応募したところ、書類選考をクリアし、審査員らが現地視察にこられた。

最終的に、事業箇所として採択された。

日 時：7月6日（月）



(2) 河川環境モニタリング調査（市野川水系の会との協働）

① 機材と体制の整備

- ・ 河川整備基金からの助成により、モニタリング用機材の整備と住民によるモニタリング体制を構築することができ、昨年度に実施した微地形測量データと合わせ、A～D区間の初期地形を測量することができた。
- ・ 初期の事業目標を達成できた。本データは2WAY方式による河川環境の変化を評価する上での貴重なデータとなる。



② 微地形測量

調査日：8/30（土）、9/19（土）、10/4（土）、
11/8（日）、11/15（日）、4～5名



③ 植生調査

調査日：9月8日（水）、3名

講 師：埼玉県生態系保護協会 熊谷主任研究員

④ 自然共生研究センター 視察研修会

- ・ 岐阜県各務ヶ原市の(独)自然共生研究センター様を訪問し、萱場センター長から技術指導をいただくとともに、実験河川を見学した。

日 時：6月8日（月）～9日（火）、5名



(3) 第2回市野川川あそび（サポート）

- ・ 「市野川水系の会」主催の地元の子どもたちに呼びかけた「第2回市野川川遊び」に協力した。

日 時：7月19日（日）

内 容：クリーンアップ、生き物採取、ミニ水族館づく

講 師：埼玉県生態系保護協会 安東主任研究員



- (4) 第2回いい川・いい川づくりワークショップ 発表
市民によるモニタリング調査をテーマとして、モニタリングメンバー5名にて、測量作業を再現発表した。

1回戦落ちしたが、『技術賞』を受賞した。

日 時：9月21日（祝）～22日（祝）

場 所：国立青少年オリンピックセンター



【表彰理由】

「市民でも測量機材をそろえ、生き物の生息に重要な瀬や淵の位置や大きさの変化を科学的に捉えることができる。市民による技術的なアプローチとして表彰したい。」

選考委員：大熊孝（新潟大）、藤田光一（国総研）、吉村伸一（選考委員長）

- (5) 市野川クリーンエイド In 羽尾（第2回）

主 催：市野川水系の会に参加

日 時：10月18日（日）

場 所：又五良水路、市野川（両家橋～高橋）



- (6) 東松山県土整備事務所との協議

① 第10回市野川協議会

日 時：5月28日（木）、羽尾一区集会場にて

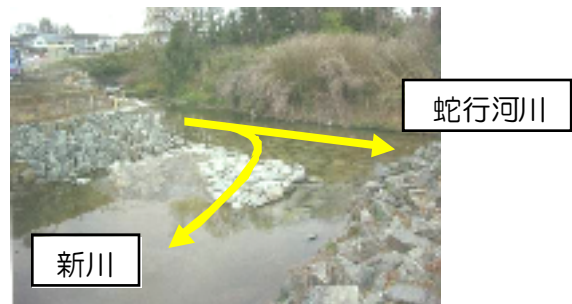
議 題：土地改良事業と河川事業との調整（田んぼの水路と川との合流点の処理 等）

メンバー：県土事務所、町産業振興課・建設課、専門家 堂本氏、水系の会・協議会

② B区間分流堰 工事着手時 立会い

B区間分流堰の整備に先立ち、現地協議を行った。

日 時：11月18日（水）



完成した分流堰（H22.4）

③ 又五良水路周辺の環境整備

川沿いのアクセス確保や又五良水路周辺の「多自然化」など、環境整備の実施についてお願いし、整備を行っていただいた。（市野川水系の会と協同提案）



4. 市野川[松山地区]

市街地（東松山市）と田園地帯（吉見町）の境界を流れている松山地区の市野川で行われている河川整備事業は、大規模かつ長期的な事業であり、街づくりの上でも重要な箇所である。

河川整備事業は『川を活かした街づくり』や『川の再生』の絶好の機会であり、当協議会では、平成 20 年度から当事業を比企における「多自然川づくり」推進モデル地区と位置付け行動を行っている。

(1) 市野川をテーマとした新宿小学校の授業の応援

- ・ 新宿小学校 6 年生（3クラス）理科の授業での市野川の生き物調べの応援を頼まれた「市野川を再生する会」の活動を応援した。（新聞記事）

依頼者：新宿小学校 6 年生（3クラス）理科の授業

テーマ：自然との共生 — 市野川の生き物調べ

日時：7月7日（火）（前日の夕方に仕掛け網を設置）

内容：仕掛け網の回収、採取された生物の展示、生き物調べ

メンバー：5名



流れ川橋



(2) 第9回 河川見学会 主催（埼玉県、東松山市、吉見町 後援）

東松山市、吉見町の広報誌で住民に呼びかけ、河川整備中の市野川の見学会を開催した。「多自然川づくり」を具体化するため、リバーフロント整備センター 多自然川づくりサポートセンターの専門家 4 名に現場を視察していただき、引き続き午後に学習会を開催した。

テーマ：市野川[松山地区]の河川整備事業

日時：7月11日（土）AM

場所：市野川 松山地区

内容：現地見学、事業計画説明、意見交換

参加者：リバフロ 4 名、県土、吉見町、市民 計 23 名



(3) ふれあい市野川クリーンアップ作戦（実行委員として参加）

① 参考事例 視察

- ・ クリーンアップ作戦の充実化に向け、参考となる事例を視察した。
- ・ 水辺に親しめるよう、10月中の開催を模索したいとのことなどを話し合った。

名 称：越戸川 川まつり

日 時：10月24日（土）

場 所：越戸川（和光市）

メンバー：クリーンアップ作戦実行委員会会長、県土、市民3名

越戸川まつりの様子



カヌー



魚とり



ミニ水族館



出店（やきとり、焼きそば、野菜、パネル展示、バザー・・・）

② クリーンアップ作戦

日 時：11月14日（土）

残念ながら、雨天により中止となってしまった。

(4) 河川整備計画への市民意見反映状況

- ・ 当事業は規模が大きく期間の長い事業であり市街地に隣接していることから、「比企流域における『多自然川づくり』の先導事業」と位置付け、体制づくりを目指している。
- ・ 21年度は現行の取水計画を見直すこととなったため、まずは取水計画の見直し状況について意見交換を継続させていただくこととした。（1/19 県土との協議結果）

当地区の河川整備方針

平成21年1月に開催した第7回比企流域懇談会において、当地区の河川整備計画について、東松山県土整備事務所から以下の方針が示された。

- ・ 「関係機関や地域と連携・協力し、水辺に親しめる河川整備を行う。」
- ・ 「瀬と淵の創出」
- ・ 「生態系に配慮した多自然川づくりを進めていく」

当協議会としてもこの方針に賛同し、実現に向けた具体案を提案し、協議を進めていく。実現のポイントは行政ではなく、住民の賛同が得られるかにかかっていると考える。

5. 多自然川づくり学習会 主催

「多自然川づくり」の基本と、午前中に見学した市野川と槻川（小川町）での 100 プラン事業への適用について学習した。

日 時：7月11日(土)午後

場 所：きらめき市民大学

講 師：リバーフロント整備センター 多自然川づくりサポートセンター 内藤主任研究員



6. 第8回 比企流域懇談会 主催（埼玉県 後援）

テーマ：川の再生

日 時：2月20日(土)午後

場 所：リリック小川

内 容：槻川再生のポイントと市民による魚類調査の提案、100プラン事業説明、意見交換

講 師：埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当部長 金澤光



7. 渓流砂防事業

(1) 生物調査

- ・砂防事業（流路工）が行われている慈光寺川にて生物調査を実施した。
- ・当初予定していた地元学童グループ等との体験活動は実施できなかった。

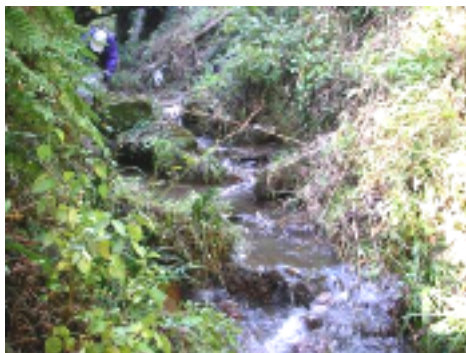
日 時：11月3日(祝)

場 所：慈光寺川

内 容：事業予定地の下流側、事業終了後の上流側の沢内の生き物を調査した。

メンバー：6名

結 果：事業予定地は典型的なステップ&プールが形成されており、多数のアブラハヤ、ヌマエビやヤゴの生息が確認された。整備済の箇所には生物の生息は確認されなかった。



慈光寺川 整備予定地（下流側）
ステップ&プールが形成され、アブラハヤが多数生息していた。



慈光寺川 整備中の場所（中流部）

(2) 東松山県土整備事務所との協議

- ・ 調査結果を整理し、県土事務所に問題点と改善策を提案し、協議を行った。
- ・ 上流部は地形が急峻で民家が隣接しており、対応は厳しいこと。下流側は地形が緩やかなので、対応ができると思うとのこと。
- ・ 事業予定地の下流の沢はステップ&プールなど、良好な沢の環境が保全されている。砂防事業でどう変化するか、今後も注視していく必要がある。
- ・ なお、石の帯工で模範と思われる整備を行っている愛知県の近自然工法研究会様から、アドバイスをいただいた。

8. 近自然工法研究会 視察交流会

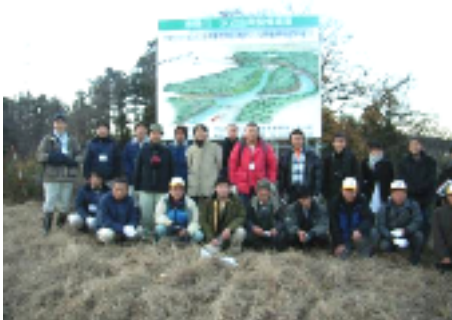
「いい川・いい川づくりワークショップ」で知り合いとなった愛知県の「近自然工法研究会」の皆様が市野川（羽尾地区）の蛇行河川と2WAY 整備を視察に来られた。

当研究会は、愛知県や豊橋市などの河川行政職員と造園会社、施工会社などの民間企業（いわゆる河川整備の実務者）で構成されており、「市民参加」をテーマとして視察に来られた。

日 時：12月19日（土）

場 所：市野川（両家橋～C区間）、羽尾1区集会場、焼きとり屋 来夢（懇親会）

メンバー：近自然工法研究会8名、県土整備事務所3名、滑川町2名、市民（全国水環境交流会、みずとみどり研究会、学生（東大）、市野川水系の会、比企の川づくり協議会）。総勢23名）



9. 会 議

会議などの実施状況			
日 時	場 所	メンバー	主な議題
4/9 (木)、 他	県庁	河川砂防 課、千葉	提言学習会への協力依頼
4/13 (月)	リバフロ	リバフロ/ 渡辺、千葉	市野川[松山地区]河川事業の多自然川づくり
4/28 (火) 5/21 (木) 7/23 (木) 8/12 (水) 1/19 (火)	県土	県土、協議会	東松山県土整備事務所と協議会の定例ミーティング 議題：年間計画、100 プラン事業、市野川 [羽尾地 区]、市野川 [松山地区]、砂防事業、河川見学会、流 域懇談会 など
5/6(祝) 11/1 (日)	東松山ウオーキング センタ 小川町図書館	協議会	事務局会議 (会員名簿の整理、他) 運営会議 (ホームページ学習、他)
6/23 (火) 6/30 (火) 1/24 (日)	リリッ小川 喫茶店 白石ショップ	協議会、地元	100 プラン事業 槻川 (小川町) への対応
8/25 (火)	県土	渡辺、千葉	ふれあい市野川クリーンアップ作戦 総会

10. 河川砂防事業全体

- 『工事が始まって始めて工事実施を知った。』という住民からの声が多く寄せられるため、新河岸水系で行われているような比企管内の河川砂防事業全体の流域住民への説明と意見交換の機会を確保していくこととしたが、具体化できなかった。

11. ホームページ管理

- ホームページは公開情報となることから、著作権、肖像権などの法規制のルールを学習し、法令順守を徹底するための学習会を行った。(事務局会議、運営会議)

日 時：11月1日(日)

場 所：小川町図書館

メンバー：5名

12. イベント サポート

- 7/19 (土) 市野川 川あそび (第2回) (羽尾) / 主催：市野川水系の会 協力
- 8/1 (土) 都幾川で遊ぼう! 第6回 (玉川小前) / 主催：もりんど 協力
- 8/16 (日) 市野川 川の生き物調べ (市の川小前) / 主催：市の川・こどもエコクラブ 協力
- 8/20 (木) 河童会議 (鞍掛橋～丸木美術館) / 共催：東松山市・パートナー団体

Ⅱ. 平成 21 (2009) 年度 比企の川づくり協議会 決算報告書(案)

＜収入＞

(単位:円)

項目	決算額	備考
1. 前年度繰越金	10,088	
2. 年会費	23,000	現金 1,000 円×16 名・振込 1,000 円×7 名
3. 参加費	4,300	1,700 円(河川見学会)・2,600 円(比企流域懇談会)
4. 雑収入	7,344	6,307 円(寄付)・36 円(利子)・1,001 円(通帳より移動)
収入合計(A)	44,732	

＜支出＞

項目	決算額	備考
1. 事務費(資料作成・他)	21,480	コピー、消耗品、事務局経費(1,500 円×12 ヶ月)
2. 通信費	10,780	はがき、切手、宅配便代
3. 傷害保険掛け金	1,000	1000 円×1 回
4. 雑支出	6,626	会場費、資材、他
支出合計(B)	39,886	

＜差引残高＞

項目	決算額	備考
差引残金(A-B)	4,846	

差引残金(A-B) **4,846 円**は、次年度に繰り越します

上記の通り、報告いたします。

2010 年 4 月 17 日 会計 山本 悦男

平成 21(2009)年度 比企の川づくり協議会 特別会計決算書(案)

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1. 河川整備基金助成金	800,000	市野川 市民による順応的事业 (2WAY方式のモニタリング)
2. サイサン環境保全基金	105,000	第2回市野川シンポジウム
3. 寄付金	6,196	個人
収入合計(A)	911,196	

<支出>

項目	予算額	備考
1. 河川整備基金助成金	806,196	市野川 市民による順応的事业 (2WAY方式のモニタリング)
2. サイサン環境保全基金	105,000	第2回市野川シンポジウム
支出合計(B)	911,196	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	0	

上記の通り報告致します。

2010年4月17日

Ⅲ. 平成 22 (2010) 年度 事業計画 (案)

1. 河川見学会

テーマ：水辺再生 100 プラン (小川町)

日 時：7 月 3 日 (土)

内 容：事業計画説明、意見交換、「多自然川づくり」護岸の必要性 学習会

2. 比企流域懇談会

各事業などの今後の状況を踏まえ、年度後半にテーマなどを検討し、開催する。

3. 市野川 (羽尾地区)

「市野川水系の会」と協議しながら、協働して以下の取り組みを進めていく。

(1) 活動方針案

- ・「市野川水系の会」と協働 (またはサポート) し、地元での河川環境保全や川を活かした街づくり運動などを盛り上げていく。
- ・新 2WAY 方式については、全国的にも先進的な取り組みであることから、引き続き、萱場センター長からアドバイスをいただきながら、モニタリングを継続する。

(2) 河川整備

B 区間整備が終了、県土事務所担当幹部が異動 (部長、課長) したことから、今後の事業 (計画策定) の進め方について、萱場センター長のアドバイスなどもいただきながら、県土事務所、町や土地改良区らと協議を行う必要がある。

(3) 河川環境モニタリング調査

微地形測量を継続する。ただし、初期地形のデータ取得が終わったため、どの程度のデータ取得が必要か今後協議した上で進めていく。

(4) 川あそびイベント 等

「市野川水系の会」が開催するイベント開催などに協力する。

4. 市野川 (松山地区)

「市野川を再生する会」と協議しながら、協働して以下の取り組みを進めていく。

(1) 活動方針

- ・ふれあい市野川クリーンアップ作戦、新宿小の応援などを継続しながら、市野川への住民の関心を高め、当地区の河川事業への住民意見反映 (川を活かした街づくりや川の自然再生など) に向けた下地をつくっていく。

(2) 河川整備計画

- ・取水方式の見直し結果及び今後の事業の予定など、河川整備の見通しや状況を確認していく。

(3) ふれあい市野川クリーンアップ作戦

- ・昨年視察した「越戸川祭り」などを参考とし、活動の充実化を実行委員会に提案する。
- ・早めに会長と打ち合わせを行い、水に親しめる 10 月中の開催を目指す。

(4) 新宿小学校 学校応援団のサポート

- ・昨年同様、再生する会をサポートする形で、積極的に協力していく。

5. 槻 川

(1) 活動方針

- ・昨年度の活動経緯を踏まえ、地元メンバー (槻川を再生する会) と連携し、活動を継続していく。
- ・槻川では東秩父村、小川町、嵐山町の 3 地区で 100 プラン事業が行われていることから、環境科学国際センター様や埼玉県生態系保護協会様のアドバイスなどもいただ

きながら、町とも連携した魚類調査（ウグイ稚魚調査、アユ調査等）や産卵場づくりなどを模索していきたい。

(2) 水辺再生 100 プラン事業（小川町）への対応

- ・ 事業計画についての現地確認・協議を行っていく必要がある。
- ・ 事業による河川環境の変化について、写真撮影など記録を残しておく。
- ・ 魚類調査、川あそびイベント、植樹など、地元と協働で進めていく。

6. 水辺再生 100 プラン新規採択地区の対応

平成 21 年度は、ときがわ町、滑川町の用水、川島町の長楽用水の 3 地区で事業採択された。ときがわ町の事業は、当協議会会員が委員になる予定。自然環境の現況把握など、現地踏査などの実施を検討していく。

また、他 2 地区の事業概要についても、埼玉連幹部から現況把握に努めていただきたい旨、要請があった。

7. 砂防事業

慈光寺川で実施中の事業（流路工）、事業が終わった以後ヶ谷の堰堤など、事業の環境に与える影響について、現地調査（生物など）を行い、データ蓄積に努めていく。

8. 荒川流域ネットワーク 標識アユの追跡調査

- ・ 平成20年度から荒川流域ネットワーク荒川流域再生プロジェクトによりアユ復活運動の一環として、入間川水系での標識アユ調査が行われている。（目的：溯上実態の把握）
- ・ 今年、4月11日、都幾川と越辺川合流点で各々約2千数百尾の標識アユを放流した。
- ・ 放流アユの溯上実態を把握する貴重な機会であることから、都幾川、槻川のモニタリング調査に主体的に取り組んでいく。

(1) 投網調査

都幾川を対象として、標識アユ放流地点から上流部に向けて、6月から8月にかけて、投網による採捕調査を2～3回、実施する。

なお、武蔵漁業管内の漁業鑑札権は3名分が荒川流域ネットワークから支給される。

(1) 産卵期調査

日 時：10月16日（土）または23日（土）を候補日とする。

場 所：目視調査

9. イベント サポート

川遊び活動などを広めていくため、依頼のあった活動をお互いに助け合っていく。

サポート依頼の活動（予定を含む）

日 時	場 所	内 容	主 催
6/5（土）	全国一斉水質調査		？
6 or 8月？	市野川（市の川小前）	生き物調べ	市の川・こどもエコクラブ
7月？	市野川（流れ川橋）	生き物調べ	新宿小学校 市野川を再生する会
7/19（祝）	市野川（羽尾地区）	カヌー、生き物調べ	市野川水系の会
7/31（土）	越辺川（樋の口橋下流） （東松山市）	生き物調べ、投網による アユ調査	児沢探検隊
8/7（土）	都幾川（玉川小前）	カヌー、生き物調べ	もりんど
8/下旬	都幾川（鞍掛橋～丸木）	カヌー、生き物調べ	河童会議実行委員会

IV. 平成 22 (2010) 年度 比企の川づくり協議会 予算書 (案)

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1. 前年度繰越金	4,846	
2. 年会費	25,000	1,000 円×25 名
3. 参加費	8,000	200 円×40 名
4. 雑収入	5,000	寄付
収入合計 (A)	42,846	

<支出>

項目	予算額	備考
1. 事務費 (資料作成・他)	25,000	用紙、コピー、事務局経費 (1,500 円×12 ヶ月) 等
2. 通信費	12,000	はがき、切手、宅配便代等
3. 傷害保険代	2,000	1,000 円×2 回
4. 雑支出	3,846	資材、会場費等
支出合計 (B)	42,846	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金 (A-B)	0	

上記の通り提案致します。

2010 年 4 月 17 日 会計 山本悦男

平成 22 年度 会員の所属団体

市民団体（ただし、個人としての参加を含む）

- ・ もりんど 会長、事務局（ときがわ町）
- ・ 小川町水辺観察会（小川町）
- ・ 槻川を再生する会（小川町）
- ・ 市野川水系の会イン滑川町 代表、副代表、副代表（滑川町）
- ・ 月輪・環境を守る会 代表（滑川町）
- ・ 羽尾表前地区土地改良区 副理事長（滑川町）
- ・ NPO法人街づくり楽会 理事（東松山市）
- ・ 松山城周辺の市野川を再生する会 代表（東松山市）
- ・ 児沢探検隊 事務局（東松山市）
- ・ 清流対策研究会 代表（吉見町）
- ・ 埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉連） 代表幹事（埼玉県全域）
- ・ 新河岸水系水環境連絡会、埼玉県 川の再生懇談会委員（アドバイザー）
- ・ 一般市民

企業関係（ただし、いずれも個人としての参加）

- ・ 建設通信新聞社 北関東支局
- ・ さいたま新聞 タウン記者
- ・ 日本河川協会
- ・ ランドスケープコンサルタンツ協会
- ・ 航測会社（測量士）
- ・ 環境コンサルタント会社（技術士、1 級土木施工管理技師）

議員関係

- ・ ときがわ町議員、小川町議員、滑川町議員

『比企の川づくり協議会』は、川に思いを持った市民が集まり、
市民それぞれの知識や経験、情報を持ち寄り、
比企の自然や文化、暮らしと調和した川づくりや川を活かした街づくりに向け、
自主的に行動する市民の集まりです。
平成 22 年度は、上記メンバーが協働して行動していきますので、
よろしくお願いいたします。

皆で、楽しく行動していきましょう！